

平成25年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福社会

事業運営の成果

平成25年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】

1. 事業運営の成果

(1) 理事会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月28日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none">・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計の支出予算の流用について（報告）・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部変更について・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について・社会福祉法人長岡東山福祉会介護休業等に関する規則の一部改正について・「結城土地家屋調査事務所」土地購入及び解体工事計画について・社会福祉法人長岡東山福祉会評議員の退任及び後任評議員の選任について
5月29日	理事9/9名 (書面評決)	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人長岡東山福祉会第1回理事会 審議保留案件について (議案「結城土地家屋調査事務所」土地購入及び解体工事計画について)
12月26日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none">・「BSN愛の募金」短期入所事業かつぼ園の利用者寝台（ベット）等備品への助成金贈呈について（報告）・平成25年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第一次補正予算について・「デイサービスセンターかつぼ園」の送迎車輛（リフト車輛）入替えに伴う入札執行等について・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部変更について・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に関する文書等管理規程の一部改正について・特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について
3月26日	理事7/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none">・「デイサービスセンターかつぼ園」送迎車両（リフト車輛）の整備完了について（報告）

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度社会福祉法人指導監査結果報告について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成25年度一般会計・特別会計の第二次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部変更について ・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会事務決裁規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会介護休業等に関する規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会マイカー業務上利用規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会職員旅費に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会慶弔規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成26年度事業計画並びに一般会計・特別会計の当初予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会評議員の選任について
--	---

(2) 評議員会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月28日	16/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計の支出予算の流用について（報告） ・平成24年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部変更について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会介護休業等に関する規則の一部改正について ・「結城土地家屋調査事務所」土地購入及び解体工事計画について ・社会福祉法人長岡東山福祉会評議員の退任及び後任評議員の選任について
12月26日	17/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・「BSN愛の募金」短期入所事業かつぼ園の利用者寝台（ベット）等備品への助成金贈呈について（報告） ・平成25年度社会福祉法人長岡東山福祉会一般会計・特別会計の第一次補正予算について ・「デイサービスセンターかつぼ園」の送迎車輛（リフト車輛）入替えに伴う入札執行等について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部変更について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に関する文書等管理規程の一部改正について ・特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について
3月26日	14/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・「デイサービスセンターかつぼ園」送迎車両（リフト車輛）の整備完了について（報告） ・平成25年度社会福祉法人指導監査結果報告について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成25年度一般会計・特別会計の第二次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部変更について ・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会事務決裁規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会介護休業等に関する規則の一

		部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会マイカー業務上利用規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会職員旅費に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会慶弔規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成26年度事業計画並びに一般会計・特別会計の当初予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会理事の選任について ・社会福祉法人長岡東山福祉会監事の選任について
--	--	---

(3) 事務局・運営会議の開催状況

- ・事務局会議を定期的で開催し、法人運営に係る事項について協議や報告を行った。本部体制を強化することで、効率的かつ健全な経営が実践できるよう取り組んだ。
- ・法人本部や事業所の収支報告の実施を継続することで、本部職員や事業所の管理監督者は運営状況について意識を持つようになった。
- ・毎月法人運営会議を開催し、管理者や係長に対し事務局会議での決定事項の周知を図ると共に、各事業所の利用状況や課題等を報告し意見交換を行った。25年度は施設・在宅の部門運営会議も運営会議と併せて行い、それぞれの事業の特性にあった課題等を協議する場を設けた。

(4) 専門委員会

<法人本部>

①人材育成委員会

職員の資質向上を目的として研修計画を立案し、より多くの職員が受講できるよう各拠点単位の開催を多く設けた。また事前に内容等が確認できるように事前発議を徹底し、遅れがちであった実施報告を確実に行うよう働きかけた。

<資料> 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修	資格取得研修
4	法人の理念・事業計画・25年度予算		
5	法人の規則規程 食中毒の予防・感染症予防に関する基礎知識（感染対策委員会主催）		
6	権利擁護・人権擁護研修 リスク管理研修（リスク管理委員会主催） 身体拘束廃止	調理・栄養士「見ておいしい、食べたくなる食事の提供」	
7	個人情報とプライバシー保護 接遇研修	介護支援専門員	

開催月	定期研修	職種別研修	資格取得研修
8	救急救命講習		
9	緊急時の対応	生活相談員「相談員の役割について」	介護支援専門員 (模擬試験)
10	感染症予防対策及び発生時の対応について(感染対策委員会主催)	介護職員「応急処置の方法について」	
11	介護保険制度の基礎知識 安全運転講習会		介護福祉士 (模擬試験)
12	安全運転講習会 メンタルヘルス研修		
1	認知症ケア研修 研修報告会(苦情対応について)		
2	リスク管理		
3	介護保険制度(かつぼ園)		

③法人防災委員会

法人全職員が防災基礎知識を習得するために、マニュアルを配布し研修を実施した。

9月には法人合同のはじめての土砂災害を想定した総合防災訓練として、花の里かつぼからかつぼ園へ車輛を使用し職員のみ参加した避難誘導を実施した。職員間の連携等にいくつかの課題が残った。

④入所検討委員会

入所基準に基づき年6回委員会を開催し、優先順位の高い方から入所していただけるよう検討した。

グループホーム花の里かつぼでは、毎開催時に入退所状況及び待機人数の確認を行った。

⑤サービス向上委員会

入所者(利用者)及び家族に対し満足度調査を実施した。平成24年度と比較し満足度がやや向上した結果となった。また、職員にも満足度調査項目に関連した自己評価を実施し現状と課題を明らかにした。

⑥広報委員会

法人からの情報発信ツールとしてホームページを活用しやすくし、平成26年度から運用できるように全面リニューアルを行った。また、広報紙では法人の自主事業や地域行事への参加の様子などを掲載し、独自性を発信した。

⑦納涼祭実行委員会

入所者及び家族や地域の方々を含め大勢の入場者があり、催しを楽しんで頂いた。また、プログラム最後の花火は、拍手喝采となり感動で会場が一つになった。入場者が想定より多かつたためテーブル・椅子が不足し、会場内の配置等が課題として残った。

＜拠点内委員会＞

①リスク管理委員会

再発防止の対策を多方面から分析し、各職員・グループ・係・課・拠点内で情報の共有を図った。また、再アセスメント実施の周知と発生の分析においては、場所・時間・曜日等細かく行うことにより、未然の防止に繋げる事ができた。

②食事サービス委員会

各拠点で嗜好調査を行い、個々のニーズや意見等を把握し、利用者に満足していただけるよう献立作成や調理方法等を検討した。また食事や栄養に関するかわら版を定期的に発行し、利用者やご家族へ食事サービスに係る情報発信を行った。

③防災委員会

毎月計画に添って防災訓練を実施した。火災や地震等を想定した避難訓練を施設・在宅サービス事業所が企画実施し、立ち会いを依頼した地域協力隊・地元消防団・家族協力会及び消防署職員から訓練内容に関して様々な講評をいただき、改善すべき点の検討を行った。

④感染対策委員会

各拠点ごとに感染症発生予防等に関する研修会を実施し、職員へ意識付けを行った。また一昨年特養かつぼ園での感染性胃腸炎まん延を受け開催された保健所の検討会に参加し、得た情報を各拠点で共有し早め早めの対応を心がけた。

⑤労働衛生管理委員会

職員の定期健康診断を年1回（夜勤者は年2回）実施し、有所見者に対しては産業医と面談し指導を受けた。さらに希望者は協会けんぽの保健師との健康相談を実施した。婦人科健診は希望者全員に実施した。

⑥身体拘束廃止委員会

指針及び同意書の見直しを行い、委員が中心となって職員に周知徹底した。やむを得ず拘束が必要な方については、毎日の記録と、委員会においてモニタリングを行い、早めに解除することができた。また、言葉による拘束をさらに意識するために、スピーチロックの学習会を年2回実施した。

⑦園芸委員会

各拠点で花壇整備を中心に利用者・家族・職員が協働で園芸活動を楽しむことができた。特にゴーヤ・おかわかめなどの収穫は利用者に喜ばれ、これらの活動成果を「長岡市花いっぱいコンクール」で報告した。

⑧痰の吸引等安全対策委員会

医師の指示のもと看護職員を中心に計画書を基づき各職種が連携し、安全に痰の吸引を実施することができた。また、設備の安全管理確認と実技研修も行った。

（5）職員の動向

専門職の確保については、依然として厳しい現状があった。また産休・育児休業明けの職員

の復職が多かったため、不安なく復帰できるよう管理者・係長が頻繁に連絡を取った。

介護福祉士の資格取得率は上がったが、社会福祉士や介護支援専門員の取得率は伸びず資格取得に向けた支援体制に課題が残った。

①採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
25年度	16	7	22	4
24年度	18	9	15	4

②資格保有状況（26. 3. 31 現在）

単位：人（実数）

区分	かつぼ園	福祉センターふそき	ケアセンター花の里	合計
総職員数	107	43	46	196
介護福祉士	59	20	26	105
社会福祉士	2	3	2	7
看護師	5	0	1	6
准看護師	3	3	2	8
管理栄養士	2	0	1	3
介護支援専門員	14	11	5	30

（6）地域連携等に関すること

①花華クラブ

- ・花壇のガーデン管理を定期的に行い、利用者が散歩される際は花摘みをするなどして、大変喜ばれていた。
- ・研修旅行は山形方面に行き、あやめ園やゆり園を視察した。あやめ園ではガイドの案内で品種等の説明を受け、参加者は熱心に聞き入っていた。
- ・新規参加人数が減少しており広報活動に課題が残った。

月	実施回数		延べ参加人数		25年度の内容
	25年度	24年度	25年度	24年度	
4	2	2	22	13	お花の砂糖がけ・春の種まきとガーデン管理
5	2	2	20	19	アイの種まきとガーデン管理・ガーデン管理
6	2	2	21	19	さし芽の仕方&ガーデン管理 研修旅行（どんでん平ゆり園・ながいあやめ園）
7	2	2	17	23	梅雨時のガーデン管理・ガーデン管理
8	2	2	20	23	藍染め体験・タネまき
9	2	2	15	19	ガーデン管理・ガーデン管理とタネまき
10	2	2	17	18	球根の植え付けとガーデン管理・コケ玉づくり
11	2	1	15	11	くずのツルでかご編み・花華カレンダーづくり
12	2	2	23	25	花華カレンダー作り・寄せ植えと忘年会
1	2	2	20	24	まゆ玉飾りと干支のウマづくり・吊るし飾りと植物のつながり
2	2	2	16	25	折り紙の吊るし飾りの組み上げ・草木染め
3	2	2	18	26	フラワーアレンジ・春の鉢物
合計	24	23	224	245	

②レインボー健康体操

- ・指導有資格職員を1名増員し体制を整えた。ミーティングを定期的開催したことで、法人の意向とさまざまな情報がスムーズに共有でき、意志統一が容易に図れた。
- ・定例教室における新規参加者と指導職員が出向する団体が昨年度より増加した。全体でみる参加人数は減っているが、地域の介護予防や生きがいがいづくりには貢献したと言える。
- ・冬期の参加は減少するのが通例だが、降雪量が少なかったことから多くの参加を望むことができ毎月平均的な人数で実施することができた。
- ・初の試みとして「アオーレ長岡でのすこやか・ともしびまつり自主イベント」と「レインボー健康体操親睦会」を実施した。自主イベントは定員に近い参加を得ることができ、この試みは新たな展開へのきっかけになると思われる。
- ・参加回数の多い方を表彰し、全参加者のモチベーションの維持向上を図る対策として参加カードを新設した。次年度は体力測定を実施することも決定した。
- ・今後の課題としては、緊急時に備えた個人台帳の整備と山本地区に対する介護予防貢献が残った。

ケアセンター花の里かつぼ

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	25年度	24年度	25年度	24年度		25年度	24年度	25年度	24年度
4	2	2	12	16	10	2	2	15	12
5	2	2	12	14	11	2	2	12	12
6	2	2	12	11	12	2	2	15	11
7	2	2	13	12	1	1	1	7	7
8	1	1	5	5	2	2	2	15	12
9	2	2	16	12	3	2	2	16	11
合計						22	22	150	135

高齢者センターふそき

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	25年度	24年度	25年度	24年度		25年度	24年度	25年度	24年度
4	4	4	61	84	10	4	4	71	84
5	5	4	62	83	11	5	5	78	60
6	4	5	56	99	12	4	4	58	28
7	4	4	54	81	1	4	3	75	36
8	5	5	58	75	2	4	4	80	45
9	4	4	67	92	3	4	5	67	62
合計						51	51	787	829

近隣地域老人会等

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	25年度	24年度	25年度	24年度
美園友美会（川崎地区）	10	12	228	349
東栄・琴平 地域の茶の間（川崎地区）	2	2	37	40
愛宕 地域の茶の間（川崎地区）	1	1	10	11
さくら会（千手地区／千歳団地）	11	12	134	144

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	25年度	24年度	25年度	24年度
新保福祉部会 5・6丁目	2	1	25	23
新保福祉部会 3丁目	1	0	7	0
富曾亀地区介護講座	1	0	35	0
永田和朗会	1	0	13	0
新組コミュニティセンター	0	1	0	25
合 計	29	29	489	592

その他

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	25年度	24年度	25年度	24年度
すこやか・ともしびまつり自主イベント	1	—	26	—
花の里・ふそき教室参加者懇親会	1	—	23	—
合 計	2	—	49	—

③花壇イベント

大勢の方から参加いただき、地域との交流や親睦を深め実施することができた。地域の高齢化に伴い参加人数が低下しており、イベント内容や広報活動に課題が残った。

単位：人（延べ数）

	回数	参加人数
25年度	2	124
24年度	2	144

（7）その他

①役員研修の実施

25年度は長岡市を中心に地域包括ケアシステムを展開している法人が首都圏事業の拠点としている複合施設の視察を行った。地方の施設とは違った苦勞を聞かせていただき、首都圏の急速な高齢化による大きな課題を痛感した。

②地域向け研修会（東山かいらく教室）の開催

「今まで以上に期待される地域の施設になる」を目的に第5回東山かいらく教室を開催。法人職員による転倒予防についての豆知識講座と地震体験車試乗を行い、長岡市消防署員から地震対策について指導を受けた。しかし、開催時期が遅い事もあり参加人数が少なかったため、来年度は地域のニーズを把握する事により、より多くの地域住民に参加していただき、地域貢献ができるよう努める。

2. 経営管理

労働局の奨励金を活用した、外部講師による「福祉施設における経営参画と組織改善研修」をこれからの法人経営を担っていくリーダーを対象に実施し、職員の意識改革に努めた。

特養経営においては、かつぼ園、花の里かつぼ両施設の入所（居）者の重介護化が進み単価上昇は図れたものの入退所に伴う稼働率低下の要因となっている。また、短期入所事業、通所介護事業については、24年度のノロウィルス感染の影響もなく、通常稼働となった。

今後、他施設との競合や稼働率上昇に向けた独自性（ブランド力）の強化が課題であり、情報収

集や勉強会を実施し収益の増収に努める。

【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

1. 事業運営の成果

(1) 事務課

- ・決算業務研修会や介護保険制度の理解を深める取り組み実施により、課員相互の内部牽制を実施することができた。
- ・入所者預り金をより安全かつ適正に管理することと、これに係る事務の簡素化のため検討会を実施し、入所に際し新規に口座開設の必要がないNB代金回収システムの導入を決定した。これにより、施設管理の預り金を減らすことができた。

入所者預り金施設管理件数

平成 26 年 3 月現在	1 6 件
平成 25 年 4 月現在	2 3 件

(2) 施設サービス課

① 1・2 係

- ・家族等の面会時に積極的にコミュニケーションを図り、その人の生活歴等をより深く知ることと他職種と共通理解のもと、利用者と家族が望まれる「その人らしい生き方」ができるような支援をケアプランに反映させることができた。また、日々の生活状況を伝えることで信頼関係がより強化された。
- ・終末期の介護計画に沿い、家族と他職種が協働して最後まで寄り添うケアを実現できた。
- ・利用者が安心して穏やかに生活できるよう、居室担当を中心に日々の生活の検証を行うことにより、グループ内で統一した対応ができた。
- ・外部のボランティアの受入れや個人外出を実施することで、利用者の満足度を向上させることができた。
- ・家族協力会の活動としては、毎月車椅子・浴室の清掃や障子張り等を行っていただくことで、清潔な生活環境を整える事ができた。また特養花華では、家族と利用者が一緒に作業を行い、普段とは違ったふれあいの機会が持て、家族も利用者も楽しみの活動となった。
- ・計画的な研修を実施し、振り返りをするすることで、より実践に繋げることができた。

② 医務係

- ・日頃の利用者の心身の状態を把握し、家族へ分かりやすい説明を行なうことにより、適切なケアに繋げることができた。
- ・終末期への移行については、医師、他職種との連携により家族に安心してもらえる対応ができた。
- ・昨年度の経験を活かし、流行期前からノロウイルス、インフルエンザの感染拡大防止の対策について全職種が共通認識をもち対応し予防することができた。

③ 給食係

- ・管理栄養士と調理員が連携し、利用者のニーズにあった献立を作成し食事の提供を行った。
- ・他職種と連携し、利用者の健康状態に合わせた栄養ケア計画を作成することができた。
- ・事業所ごとの予算執行状況を確認しながら、実費負担に見合う食事の提供ができた。
- ・調理の研修会を行うことができなかつたため、次年度は調理マニュアルを基にして技術の標

準化を図る。

- ・食事に關しての情報を食事だよりとして発信した。また利用者の意見を取り入れた選択メニューとスイーツバイキングの実施を行い、とても好評だった。

資料1 <入所者の状況>

①入退所状況

単位：人（実数）

入所前の状況						
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ ホーム	合計
25年度	15	3	13	5	0	36
24年度	9	9	14	8	2	42

退所の状況					
状況	在宅	施設で死亡 ※1（ ）	協力病院 入院中死亡	他施設等 へ退所	合計
25年度	0	35（28）	1	0	36
24年度	0	36（26）	5	1	42

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	25年度		1	5	27	27	40
24年度		3	7	18	33	39	100

③月別利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	25年度	人数	2,987	3,038	2,962	3,070	3,082	2,979	36,152
月		10	11	12	1	2	3		
人数		3,084	2,964	3,074	3,086	2,766	3,060		
24年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	2,993	3,085	2,970	3,078	3,098	2,929	35,953	98.5%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	3,026	2,946	2,993	3,048	2,718	3,069		

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

25年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	669	1,685	8,380	10,624	14,794	36,152	4.0
24年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	792	3,692	5,988	11,129	14,352	35,953	4.0

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	25年度	24年度
移 動	独歩	4	2
	介助・介助具使用	10	8
	車椅子	86	90
食 事	自立	54	41
	見守り		15
	一部介助	22	17
	全介助	16	18
	経管栄養	8	9
排 泄 (日 中)	トイレ 自立	10	7
	一部介助	20	18
	全介助	4	7
	ポータブルトイレ		
	自立	0	0
	一部介助	7	10
	全介助	5	7
	オムツ	50	48
	フォーレ	4	3
入 浴	一般浴	16	26
	座浴	28	24
	特浴	56	50

⑥食事形態（平成26年3月31日現在）

単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	27	普通	27
おにぎり	3	刻み	15
粥	57	超刻み	29
パン	5	ミキサー	21
流動食	8	流動食	8

資料2 <余暇活動等>

①余暇活動の実績

単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	グループ余暇	20
	花見ドライブ	6
5	すこやかともしび	4
	おはぎ作り	14
6	ゲーム（軽体操）・七夕飾り作り	17
	映写会	27
	すこやかともしび作品作り	22
7	すこやかともしび作品作り	9

月	余暇活動内容	参加人数
8	盆供養会	30
	映写会	26
	すいか割り大会	27
9	敬老会	45
	おはぎ作り	14
	すこやかともしび祭り見学	4
10	外出ドライブ	6
11	外出ドライブ	4
12	クリスマス会ツリー飾り	20
	クリスマス会・写真撮影	100
1	新年会	55
	絵馬づくり	42
	映写会	28
2	節分	56
	映写会	71
3	春を迎える会（中止）	
	彼岸供養会	30
	映写会・ふれあいタイム	22
合計		699

②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	4	31
書道クラブ	11	70
歌謡クラブ	20	468
生け花クラブ	13	146
合計	48	715

③特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

単位：人（延べ数）

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
4	1	12	1	春の種まき
5	1	12	0	百日草の種まき
6	1	11	0	百日草プランター作り
7	1	12	15	風鈴短冊作り
9	1	12	12	菜の花の種まき
10	1	12	2	ビオラのプランター作り
11	1	12	4	カレンダー作り
12	1	12	3	葉ボタンの植え付け
2	1	12	3	春を楽しむフラワーアレンジ
3	1	7	7	春の鉢植え
合計	10回	114	47	※8・1月は実施なし

(3) 短期入所事業かつぼ園

- ・利用中の状態の変化時に、利用者が安心してサービス利用ができるよう、家族と共有できる確認表を作成し活用した。
- ・年間計画に沿ったアクティビティ活動として、季節に応じた野菜作り、地域のボランティアと共に行うおはぎ作りや笹団子作りなどを行い、残存機能の維持向上を図ることができた。また、利用者からの要望を聞き、活動メニューを増やして実施する事ができた。
- ・計画していた事業所内研修をほぼ予定通り実施し、職員の資質向上に努めることができた。また、職員が不安に感じていた終末期の対応については、時間をかけて検討し学ぶことでより深く理解でき対応する事ができた。
- ・入退所の自宅送迎時や、サービス利用時に家族及び利用者と密にコミュニケーションを図る事により、ニーズの的確な把握に努めそれをサービス提供に反映することができた。
- ・利用者の定着の促進と稼働率向上のため、利用者の状態及び空室状況を介護支援専門員等関係機関に情報提供をすることで、連携を深めることができ稼働率の向上に繋がった。

資料<利用者の状況>

①市別利用数

単位：人・日（延べ数）

年度	長岡市		見附市		合計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
25年度	1,339	7,830	29	141	1,368	7,971
24年度	1,276	7,544	12	73	1,288	7,617

②月別利用数（ ）内は予防短期入所生活介護利用数を再掲

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	25年度	人数	702 (5)	703 (11)	644 (14)	651 (11)	704 (32)		
月		10	11	12	1	2	3		
人数		649 (16)	646 (21)	662 (17)	680 (20)	627 (12)	664 (18)		
月		4	5	6	7	8	9		
24年度	人数	618 (0)	621 (3)	617 (0)	625 (4)	658 (7)	643 (10)	7,617 (85)	104.3%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	704 (18)	576 (14)	600 (10)	626 (5)	591 (5)	738 (9)		
	月	4	5	6	7	8	9		

③介護度別利用数

単位：人（延べ数）

年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	25年度	人数	191	541	662	1,159	2,922		
24年度		介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計
	人数	85	924	805	1,135	2,101	2,567	7,617	3.6

(4) デイサービスセンターかつぼ園

- ・居宅介護支援事業所を月に一回訪問し実績報告や事業所のPRを行った。行事等の案内を行ったことで、行事に合わせて利用された方もいた。ご利用者からのキャンセルの連絡には、代替え日の提案を行い稼働率が下がらないように働きかけることができた。

- ・レインボー健康体操を日々実施することで、ご利用者の日課となり自宅で自主的に行われている方もいた。インストラクターから実施してもらうこともあり学びの機会となり、職員の質を向上させることができた。レインボー健康体操を実施している事業所として居宅介護支援事業所に認知されてきている。
- ・接遇についての振り返りを実施した。自分たちの接遇について検証し気付きの機会となり職員の意欲向上につながった。

資料<利用者の状況>

①登録者数

単位：人（実数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計
25年度	74	13	87
24年度	81	14	95

②利用者数

単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
25年度	7,024	1,009	8,033	363	22.1
24年度	7,535	656	8,191	364	22.5

③月別利用数

（ ）内は予防通所介護利用数を再掲

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	664 (88)	700 (85)	666 (86)	685 (84)	674 (76)	672 (93)		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	717 (96)	663 (82)	667 (93)	637 (86)	607 (81)	681 (91)			
24年度	月	4	5	6	7	8	9	8,191 (1,034)	90.0%
	人数	700 (64)	739 (73)	698 (76)	731 (70)	704 (83)	684 (79)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	720 (93)	660 (94)	671 (99)	610 (107)	573 (102)	701 (94)		

④介護度別利用者数

単位：人（延べ数）

年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	1,041	1,795	2,030	1,632	589	946		
24年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	1,034	2,602	1,741	1,243	664	907		

⑤行事計画

単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
4	お花見ドライブ（寿、藤沢）	52
5	ドライブ(イングリッシュガーデン)	54
6	ドライブ（造形大学）	52
7	ドライブ（ハイブ長岡）	55
8	納涼祭	6
9	すこやかともしびまつり	3
	敬老会	66
10	ドライブ（ハイブ長岡）	58
11	ドライブ（秋葉公園）	56
12	クリスマス会	45
	忘年会	63
2	もちつき大会	70
3	節分	62
合計		642

(5) ホームヘルプサービス事業かつぼ園

- ・一人ひとりの持っている能力を活かすために、ニーズ及び状態把握を十分に行い訪問介護計画を作成し、それに基づいて標準的なサービス提供ができた。
- ・営業日や営業時間の縮小を行ったことで、訪問延べ数が前年度より 1,299 回減少した。来年度は同様の体制であるが、少しでも実人数を増やし質の高いサービス提供を行っていききたい。
- ・その人の状況をより理解している立場でサービス提供ができるよう、家族、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターと連携を図った。
- ・年間研修計画に沿い、毎月の事業所内研修と個人研修を実施できた。医療知識においては、課内の看護師より研修を受け、より深い知識を修得する事ができた。

資料<利用者の状況>

①月別利用数 () 内は予防訪問介護数を再掲

単位：人(延べ数)

25 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	257 (19)	268 (22)	202 (19)	218 (21)	201 (21)	218 (18)	2,504 (206)
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	245 (23)	177 (8)	199 (14)	184 (14)	166 (12)	169 (15)	
24 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	279 (16)	320 (20)	293 (14)	370 (16)	370 (15)	362 (16)	3,803 (208)

24年度	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	346 (18)	297 (19)	295 (16)	292 (20)	284 (20)	295 (18)	

② 介護度別利用数

単位：人(延べ数)

25年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	109	97	82	810	451	915	40	2,504	2.5
24年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	129	79	601	1,012	747	1,081	154	3,803	2.6

(6) 在宅介護支援センターかつぼ園

- ・利用者、家族の意向を十分に把握し、身体状態に合わせ必要なサービスを調整し自立に向けた生活が継続できるよう事業所と連携し居宅サービス計画書を作成した。
- ・家族の意向を確認しながら状態に合わせ、主治医、サービス事業所と連携し在宅での看取りの支援をおこなった。
- ・研修計画に沿って事業所内研修、個人研修を実施できた。県主催の高次機能障害の研修や市主催の自立支援に向けたケアプランの質の向上研修などの外部研修に参加し、より高い知識を習得できケアプランの作成に活かす事ができた。
- ・水害による介護者支援の制度の利用が円滑にできるよう市、家族と連携しながら該当者の支援を行った。介護保険の給付率について事業所と連携し正しい請求業務に努めた。

資料<利用者の状況>

①居宅サービス計画作成数

単位：件(延べ数)

25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	142	147	136	139	138	140	1,659
24年度	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	131	135	137	137	139	138	1,820
24年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	159	157	157	157	146	153	1,820
24年度	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	158	150	150	143	146	144	1,820

②介護予防支援受託件数

単位：件(延べ数)

25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	11	12	13	13	14	18	200
24年度	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	17	19	21	22	20	20	200

24 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	4	2	2	3	4	5	65
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	6	7	8	7	9	8	

③訪問調査件数

25年度 182件	24年度 215件
-----------	-----------

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

(ボランティアの受け入れ)

区 分			25年度	24年度
かつぼ園	定期	個人ボランティア	67	22
		団体(グループ)ボランティア	403	353
	随時	個人ボランティア	2	12
		団体(グループ)ボランティア	137	82
		保育園・学校等	64	144
	合計			673

(施設及び居宅実習・体験実習等の受け入れ)

受入事業所	区 分	25年度		24年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	10	154	6	142
	北陸福祉保育専門学院(教員免許に係る介護等体験実習)	2	10	0	0
	長岡こども・医療・介護専門学校	1	10	0	0
	高崎健康福祉大学(管理栄養士資格取得)	2	15	1	10
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士資格取得)	2	10	2	10
	三幸福祉カレッジ (ヘルパー2級資格取得)	10	20	5	13
	インターシップ事業 (高校生の福祉職場体験)	2	6	0	0
	福祉体験学習(中学校)	3	9	2	6
	新潟県立長岡聾学校 (高等部現場実習)	1	29	0	0
	障がい者職場実習	1	9	0	0
	補導委託	1	3	2	4
ホームヘルプサービス事業かつぼ園	三幸福祉カレッジ (ヘルパー2級資格取得)	12	12	3	4
	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	7	7	5	5

受入事業所	区 分	25 年度		24 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
デイサービスセンターかつぼ園	北陸福祉保育専門学院（教員免許に係る介護等体験実習）	1	5	1	5
	北陸福祉保育専門学院（介護福祉士資格取得）	7	7	5	5
	日本医療福祉専門学校（社会福祉士資格取得）	2	48	2	48
	新潟青陵大学（社会福祉士資格取得）	1	24	1	24
	新潟県社会福祉協議会（高校生及び一般の福祉職場体験）	3	6	1	2
	三幸福祉カレッジ（ヘルパー2級）	11	11	6	10
合 計		79	395	42	288

3. 苦情（意見）内容

特養かつぼ園	内容	申出人 本人 着替えを手伝ってくれる時もう少し丁寧に対応してほしい。職員の身だしなみがだらしない時がある。食事のお茶出しの時、職員同士で話しをしていることがある。
	想定原因と処理	日頃から様々な要望を訴える方であった。その都度よくお話をお聞きし対応していた。今回は職員に対し日頃思っておられたことについてご指摘いただいた。良くお話をお聞きし、謝罪した。
	改善策（結果）	職員会議にてこの件について周知し、対応についての改善を検討した。また係長より対応した職員には個別に指導を行った。

【福祉センターふそき】

1. 事業運営の成果

（1）長岡市デイサービスセンターふそき

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、各月ごとに利用日の調整を行うことで認知症対応型の稼働率の上昇につなげた。毎月の実績報告の際に、利用者の状況報告とかわら版やアクティビティ予定表の配布によるPR及び利用空き情報を提供したことも効果があったと思われる。
- ・毎月のモニタリングに取り組むことで利用者の状態を把握でき、それを基に介護計画を作成することができた。
- ・筋力向上の体操やレインボー健康体操を毎日実施し、日課として定着した。介護計画に沿って機能訓練として行う体操を、より効果的なものにするための測定や個別の評価が充分に行えなかったことは今後の課題である。

- ・個々の要望に応じて実施した脳トレーニングのプリント（計算、漢字、間違い探し、塗り絵等）は活動として定着した。次年度は、より効果が上がるようなメニューを増やし、個々のニーズに合わせた活動ができるように取り組むこととする。
- ・自主事業の一環として、地域老人会等に向けて継続的に講師を派遣した。体操やレクリエーションなど派遣先の要望に合わせた内容の実施により、派遣先の活動の活性化と健康維持増進に貢献した。
- ・職員の育成は、育成マニュアルに沿って実施した。新人職員の継続的な育成のための研修体制については見直しが必要である。

①登録者数

単位：人（実数）

年度	長岡市		合計
	一般型	認知症型	
25	123	43	166
24	123	41	164

②利用者数

単位：人（延べ数）

年度	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり平均人数
	一般型	認知症型			
25	9,688	3,827	13,515	365	37.0
24	9,718	3,495	13,213	365	36.2

③月別利用数（ ）内は予防通所介護利用数を再掲

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	25年度	一般型	804 (174)	835 (186)	814 (207)	877 (205)	831 (195)		
認知症型		274 (0)	316 (4)	311 (0)	347 (0)	336 (0)	322 (0)		
月		10	11	12	1	2	3		
一般型		860 (195)	805 (191)	806 (207)	760 (193)	721 (176)	777 (177)		
認知症型		333 (0)	303 (0)	324 (0)	322 (0)	308 (0)	331 (0)		
24年度		月	4	5	6	7	8	9	13,213 (1,718)
	一般型	813 (121)	845 (114)	810 (106)	869 (144)	840 (139)	819 (135)		
	認知症型	318	322	313	300	303	288		
	月	10	11	12	1	2	3		
	一般型	817 (144)	778 (153)	779 (169)	755 (162)	761 (158)	832 (173)		
	認知症型	289	294	305	251	248	264		

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

25 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	839	1,472	2,817	2,193	1,133	672	562	13,515	1.8
認知症型	4	0	1,174	906	1,325	212	206			
24 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	425	1,293	3,365	1,622	1,434	644	935	13,213	2.0
	認知症型	0	0	770	1,282	899	324	220		

⑤行事等の状況

月	行事内容	参加人数
4	お花見ドライブ	81
5	菖蒲湯	90
6	外出ドライブ	8
7	ふそき夏まつり	114
9	長寿を祝う会	72
	すこやかともしびまつり	5
10	買い物ドライブ	8
11	買い物ドライブ	4
12	クリスマス会	107
1	新年会	75
2	節分	75
3	春を迎える会	38
合計		677人

(2) 長岡市地域型介護予防デイサービス「ふそき元気塾」(長岡市委託事業)

・「運動機能向上プログラム」「口腔機能向上プログラム」「物忘れ予防プログラム」に沿って事業を実施した。修了者を月1回の介護予防自主事業につなげることができ、生きがいある生活支援ができた。

資料<利用者の状況>

① 別利用者数

単位：人（延べ数）

25 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	133	142	142	154	139	123	1,670
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	153	165	143	140	131	105	

24 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	140	140	156	156	126	124	1,694
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	144	137	140	144	144	143	

(3) 介護プランセンターふそき

- ・利用者の医療的な状況を把握した上で、プラン立案できるよう主治医に担当者会議への出席又は照会文書をいただくようにした。(年間35件)
- ・医療との連携に努め、入退院時に病院を訪問し利用者の状態を把握した。
- ・毎週1回の定期学習会(年間44回)を実施し、居宅サービス計画作成の基本を学習した。
- ・地域住民対象の講演会にスタッフとして参加し、介護保険情報の普及に貢献した。
(年間2回)

資料<利用者の状況>

① 居宅サービス計画作成数

単位：件(延べ数)

25 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	131	132	131	130	125	130	1,555
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	132	133	128	127	129	127	
24 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	140	135	132	134	133	135	1,582
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	137	127	130	127	123	129	

② 介護予防支援受託件数

単位：件(延べ数)

25 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	14	14	13	12	12	13	146
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	12	12	11	11	10	12	
24 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	1	1	2	2	2	1	48
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	3	4	5	7	10	10	

③ 訪問調査件数

25年度 180件	24年度 211件
-----------	-----------

(4) 長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・関係機関との連携と、地域の単身世帯・高齢者世帯を中心に戸別訪問し、心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握するとともに、介護ニーズ等を調査し台帳整備を行った。（台帳整備数1,061件）
- ・一日当たりの相談件数は、包括的支援業務6名・介護予防支援業務5名だった。
- ・地域を包括的に支援する職員としての資質を高めるため、積極的に研修に参加した。（研修数53回・参加述べ人数167名）
- ・地域の福祉関係機関との連携は述べ186回で、会議等の参加や助言などを行った。

資料＜利用者の状況＞

①相談業務の状況

- ・相談人数 （単位：件）

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
25	696	257	1,102	46	2,101	946
24	517	302	1,770	23	2,612	1,361

- ・相談経路 （単位：件）

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
25	184	195	251	36	24	27	9	383	33	50	1,192
24	230	575	229	17	34	30	17	489	33	23	1,677

- ・相談内容 （単位：件）

相談内容		件数	
		25年度	24年度
介護保険	認定関係	118	194
	サービスの紹介	64	61
	その他	106	150
小計		288	405
介護保険外	介護方法や介護の悩み	74	122
	医療・疾病関係	39	26
	高齢者の介護予防	140	507
	配食サービス	1	1
	外出支援サービス	8	1
	生活支援サービス	11	15
	福祉機器	13	8

相談内容		件数		
		25年度	24年度	
	住宅の増改築	11	8	
	その他サービスの取次ぎ	23	22	
	虐待防止	30	41	
	権利擁護・成年後見	0	1	
	認知症・物忘れ	35	38	
	その他	779	754	
小 計		1,164	1,544	
ケアマネ支援	ケアマネジメント	アセスメント	0	0
		ケアプラン	0	0
		サービス調整	1	0
		モニタリング	0	0
		担当者会議	0	0
	社会資源紹介		0	2
	医療との連携		0	1
	対人援助技術		0	2
	制度の説明		0	0
	個人の悩み		0	0
	その他		1	0
小 計		2	5	
支援内容 (延べ件数)	情報収集		0	3
	内容整理・問題の明確化		0	4
	助言		0	3
	同行訪問		0	12
	会議		0	1
	経過確認		3	0
	その他		0	0
小 計		3	23	
合 計		1,457	1,977	

②介護予防支援実施人数（年間実件数）

年度	直営	委託	合計
25	141	152	293
24	188	80	268

③年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
25	1,296	1,120	2,416
24	1,616	577	2,193

④予防プラン作成件数（実件数）

項目	年度	直営	委託	合計
予防給付プラン作成件数	25	12	91	103
	24	53	39	92
特定高齢支援計画作成件数	25	83	—	83
	24	82	—	82
虐待支援計画作成件数	25	10	—	10
	24	18	—	18

（５）高齢者センターふそき

- ・職員自らが行う日々の防災点検と館内清掃・消毒により利用者の安全を確保し、清潔かつ衛生的に管理した。消毒に使用する布は来館者に不用品寄附を呼びかけ、多くの協力をいただくことができた。
- ・利用者の高齢化による不調者対応の増加を受け、事故発生時の対応マニュアルを見直し職員間で周知した。不調者の対応は、AEDやデイサービスセンター職員の協力により迅速に対応ができた。救急搬送時に備えた利用者個人情報把握の必要性有無の検討や各種業務マニュアルの見直しは次年度の課題とする。
- ・カラオケ大会や写真等の展示の他、香りの湯の日やカラオケ前にラジオ体操を導入し毎日のサービスに変化を付けた。自主事業の一つであるレインボー健康体操教室では、延べ人数の増加こそ得られなかったが新規参加者は獲得することができた。次年度は新しいイベントの企画及び宣伝強化で新規利用を開拓する。
- ・利用者アンケートの結果活用や意見箱の意見に対するアクションに不足があった。次年度は計画的かつ継続的に取り組むことでサービス提供状態を検証する。
- ・専門業者に委託する施設設備の保守点検業務の安全性と適切な実施をチェックした。また、老朽化による湯温管理設備の不具合等の事態に応じて専門業者に相談し、日常管理方法の教示を受けながらサービスの停止を防いだ。
- ・定期的に収支状況を把握し、指定管理委託料の範囲内で予算を執行した。経費縮減の主な事項としては、清掃委託内容とその業者変更による73万円の縮減があげられる。また、職員自らが駐車場ラインの引き直しと全館の障子張り替えを行ったことで、費用を材料費だけに抑えることができた。

資料＜利用者の状況＞

①利用者数

単位：人（延べ数）

項目	年度	総数	前年度比
専用室利用者	25	20,634	103.4%
	24	19,952	
個人入館者	25	18,013	89.4%
	24	20,148	
総入館者	25	38,647	96.4%
	24	40,100	

②行事等の状況

単位：人（延べ数）

月	行事内容	参加人数	
		25年度	24年度
4	カラオケ大会	84	103
5	カラオケ大会	89	105
6	カラオケ大会	89	107
7	カラオケ大会	93	112
8	カラオケ大会	67	125
9	カラオケ大会	62	115
10	カラオケ大会	75	102
11	カラオケ大会	59	110
12	カラオケ大会	158	278
1	神楽舞・カラオケ大会	74	203
2	カラオケ大会（2回）	156	219
3	カラオケ大会	90	115
合計		1,096	1,694

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

（ボランティアの受け入れ）

単位：人（延べ数）

区 分			25年度	24年度
長岡市デイサービスセンターふそき	定期	個人ボランティア	127	195
		団体（グループ）ボランティア	143	310
	随時	個人ボランティア	8	2
		団体（グループ）ボランティア	31	69
		保育園・学校等	107	118
	合計			416

（実習生の受け入れ）

受入事業所	区 分	25年度		24年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸福祉保育専門学院 （小学校教諭普通免許）	2	10	2	10
	新潟県社会福祉協議会 （福祉職場体験）	0	0	1	1
	長岡市総合支援学校 （高等部現場実習）	0	0	1	10
	東北福祉大学 （社会福祉士）	0	0	1	3
	長岡こども福祉カレッジ （介護福祉士）	8	16	11	22
合計		10	26	16	46

3. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそぎ	内容	申出人：家族 トイレ介助は同性の職員にしてほしい。 入浴の際に、床ずれの部分が大勢の職員で見られて、とても嫌な思いをした。
	想定原因と処理	利用者の気持ちへの配慮が欠けていたためと思われる。 全利用者への対応を見直し周知した。
	改善策（結果）	トイレ介助及び入浴介助は、基本的に同性職員が行うことにする。負傷部位の確認等も必要最低限の職員で行い、必要な周知はおって行うことを徹底する。これらのこと以外についても、個々や状況に応じた適切な配慮をする意識を持つことを申し合わせた。

【ケアセンター花の里かつぼ】

（1）特別養護老人ホーム花の里かつぼ

①介護係

- ・ユニットで家庭的な生活環境を整えるため、炊飯、盛り付け、味噌汁作りを行うことができ、食事の楽しみが増え食欲向上に繋がった。また、家庭で使い慣れた茶碗や箸を使用することによって入居者との会話が増えた。
- ・入居者個別の希望に応じ外出援助や散歩、たこやき作り、喫茶、繭玉作り、書道教室等の余暇活動を行う事で楽しみのある充実した生活をサポートする事ができた。
- ・入居者の個別の移乗方法の検討や研修会を行う事で、入居者への負担のない移乗方法及び職員の腰痛予防に繋げることができた。
- ・法人内及び外部研修を通じ職員のスキルアップおよび意識向上を図ることができた。

②医務係

- ・歯科の訪問診療を受けて他職種が連携し口腔ケアの充実に努めた。
- ・医師の指示のもと入居者の健康管理を行い疾病の早期発見、治療につなげることができた。
- ・感染予防対策の徹底により施設内での感染症の発症が予防できた。
- ・入居者の嚥下機能維持向上及び身体機能維持向上を図るため、月2回の口腔体操、月3回の体操を行い、体を動かす機会を増やし活気のある生活につなげることができた。
- ・ご本人、ご家族の意向のもと安らかな看取りケアを行うことができた。
- ・日々の状態観察を重視し、皮膚の異常の早期発見が褥瘡を予防することができた。

③給食係

- ・茶話会を行ない、入居者からの意見や要望を献立や行事食に積極的に取り入れた。
- ・年に1度食事満足度調査を実施し、施設全体での食事の評価・改善を行なった。
- ・施設の畑で野菜作りを行ない、会食を通し入居者・職員とで収穫した食材を味わい、楽しむことができた。
- ・地域のそば打ちボランティアから実演会を実施していただき、打ち立てのそばを楽しむことができた。
- ・七夕会や新年会などの行事食を、入居者及び、ご家族に喜んでいただいた。

資料1 <入居者の状況>

①入退所状況

単位：人（実数）

入所前の状況						
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ ホーム	合計
25年度	0	0	1	0	1	2
24年度	4	0	3	0	2	9
退所の状況						
状況	在宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病院	他施設	合計	
25年度	0	1（1）	1	0	2	
24年度	0	8（8）	0	0	8	

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	25年度		0	0	5	8	16
24年度		0	0	3	8	18	29

③月別利用数

単位：人（延べ数）

25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	899	870	886	896	870		
24年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	868	895	870	899	897	853		
人数	897	845	881	891	798	890			
人数	899	846	881	875	802	897			

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

25年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	197	36	1,549	2,536	6,175	10,493	4.4
24年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	171	0	1,643	2,703	5,965	10,482	4.4

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区分	25年度	24年度
移動	独歩	1	2
	介助・介助具使用	3	2
	車椅子	25	25
食事	自立・見守り	12	15
	一部介助	5	1
	全介助	10	11
	経管栄養	2	2

生活動作尺度	区 分	25 年度	24 年度
排 泄	トイレ 自立	2	3
	一部介助	3	6
	全介助	5	2
	ポータブルトイレ		
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	3	1
	オムツ	14	15
	フォーレ	2	2
入 浴	一般浴（座浴）	15	17
	特浴	14	12

⑥食事形態（平成 26 年 3 月 31 日現在） 単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	9	普通	9
おにぎり	0	刻み	6
粥	14	超刻み	7
ミキサー	2	ミキサー	5
パン	0	ムース	0
パン粥	2	流動食	2
流動食	2		

資料 2 <余暇活動等>

①余暇活動の実績 単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	4 喫茶	11
	お花見ドライブ	9
5	喫茶	10
	茶話会カラオケ	19
	たこ焼き作り	10
	ハイブ長岡外出	3
6	喫茶	9
	かき氷作り	10
	くし団子作り	10
	昼食誕生会（はぎ）	9
7	喫茶	10
	七夕行事	29
	七夕会（やまぶき）	10
	菖蒲見学	3
	スイカ割り	10
	見附イングリッシュガーデン	2
	茶話会（はぎ）	9

月	余暇活動内容	参加人数
8	喫茶	10
	納涼祭（昼、夕）	25
	パンケーキ作り	8
	パフェ作り	10
9	喫茶	9
	敬老会	29
	すこやかともしび祭り外出	7
	たこ焼きパーティ	9
	茶話会（やまぶき）	10
10	喫茶	5
	イングリッシュガーデンドライブ	3
	紅葉ドライブ	2
	コスモスドライブ	2
	美術館	3
	秋のパン作り	8
11	そば打ち	12
	喫茶	11
	山本コミセン文化祭	3
	たこ焼き作り	8
12	喫茶	6
	親睦会（はぎ）	9
	クリスマス会	27
1	喫茶	9
	新年会	29
	繭玉作り	10
2	喫茶	15
	たこ焼きパーティー	29
	節分	29
3	喫茶	20
	春のパン祭り	9
	誕生会（やまぶき）	20
合計		559

②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	参加人数
書道教室	6	23

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・入居者及び家族の意向に沿ったケアプランに基づき1人ひとりに合った外出活動や余暇活動を実施することができた。
- ・2か月に1回、地域住民の代表・家族・利用者・地域包括支援センター職員が参加する地域運営推進会議を開催し、地域に開かれた施設としての存在をアピールするとともに、地域から「職員の頑張りを至るところでみることができた。職員と家族の関係性が良い。入居者の皆さんが笑顔で喜んでいられる。」等の意見が聞かれた。
- ・地域行事等積極的に参加し、入居者の生活意欲の向上に努めた。また、花壇イベントや笹団子づくりなど各種行事において、地域住民と交流や親睦を図ることができた。

資料<入居者の状況>

①入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	合計
25年度	5	0	0	0	5
24年度	6	0	0	1	7

退居の状況					
状況	在宅	施設内で死亡	病院入院	特養へ入所 ※1（ ）	合計
25年度	0	2	0	1（1）	3
24年度	0	1	3	4（4）	8

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要支援2	1	2	3	4	5	合計
	25年度		0	3	6	4	4	1
24年度		0	1	9	3	2	3	18

③月別利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	25年度	人数	532	544	540	558	546		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	550	540	535	543	504	558		
24年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	540	557	540	523	518	509	6,392	97.3%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	542	529	545	535	499	555		

④年度介護度別数

単位：人（延べ数）

25年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	884	2,677	1,697	828	404	6,490	2.6
24年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	424	2,765	1,365	1,171	667	6,392	2.8

⑤余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	8
5	イングリッシュガーデン外出	5
	ハイブ長岡ドライブ	5
	駅前プランター活動	3
	秋葉公園	6
6	大風合戦	9
	笹団子作り	18
	バーベキュー	18
	外食（龍圓）	7
7	夏祭り	18
8	花火見学	2
	栃尾祭り見学	5
9	長寿を祝う会	18
	すこやかともしび祭り	5
10	アオーレ長岡習字作品展外出	5
	もみじ谷見学	3
	芋煮会	18
	山本中学音楽祭	3
11	東山ファミリーランド外出	3
	悠久山紅葉見学外出	3
	弥彦山紅葉見学	4
	山本コミセン文化祭	4
	バーベキュー	18
12	大掃除・忘年会	18
	クリスマス会	18
2	節分	18
	お茶会	13
合計		255

(3) デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、ご利用者3名がグループホームの入居に円滑に移行できた。
- ・通所介護計画に基づき、家庭的な雰囲気の中でニーズに応じた役割提供・余暇活動・外出活動等を実施することができた。

資料<利用者の状況>

①登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市
25年度	13

②利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	稼働日数	1日あたり 平均人数
25年度	448	365	1.2

③月別利用数 ()内は介護予防通所利用数を再掲 単位：人（延べ数）

25年度	月	4	5	6	7	8	9	合計 (0)	稼働率 41%
	人数	16 (0)	33 (0)	29 (0)	32 (0)	29 (0)	38 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	40 (0)	38 (0)	41 (0)	50 (0)	47 (0)	55 (0)		

④介護度別利用者数 単位：人（延べ数）

25年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	264	121	62	1	0		

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人（延べ数）

区分			25年度	24年度
特養花の里 かつぼ	定期	個人ボランティア	12	10
		団体(グループ)ボランティア	37	57
グループホーム花の里 かつぼ	随時	個人ボランティア	4	3
		団体(グループ)ボランティア	36	71
		保育園・学校等	72	83
合計			161	224

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	25 年度		24 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養花の里 かつぼ グループホーム 花の里かつぼ	長岡こども福祉カレッジ専門学校 (介護実習)	5	77	0	0
	新潟県社会福祉協議会 (福祉職場体験)	0	0	1	3
	新潟県立長岡豊学校 (高等部現場実習)	0	0	1	10
	新潟県認知症実践者他施設実習 (認知症実践者研修)	3	3	3	3
合計		8	80	5	16

3. 苦情（意見）内容

ケアセンター花 の里かつぼ	内容	<p>申出人：地域の団体</p> <p>私たちは奉仕の気持ちで大変な草取りやその他のことをしても、責任者からの「ありがとう」という気持ちが全く伝わってこなかった。ボランティアを終えて引き上げる時も責任者は『ふん、ちゃーん』といった態度で、感謝の気持ちが無いように感じられた。今度、6月にそちらに伺う予定だが態度を改めてほしい。</p>
	想定原因と処理	<p>想定原因：責任者であるセンター長がグループホームの笹団子作り行事に参加していたため、地域の皆様へ挨拶と御礼ができなかった。結果として不快を与えてしまった。</p> <p>処理： 上記の件について、センター長よりボランティア活動日に来所した皆様に謝罪した。謝罪後、皆様から不満の声は聞かれず、むしろ協力的にコミュニケーションを図りながら作業遂行ができた。</p>
特養花の里 かつぼ	内容	<p>職員の言動により、入居者が息子の悪口を言われたと思われ不快を与えた。</p>
	想定原因と処理	<p>想定原因：職員の言動が不適切だった。</p> <p>処理：上記の件について、管理者より入居者本人及びご家族に謝罪した。職員については、始末書の提出及び厳重指導を行った。</p>

